

2020年 5月28日
石屋製菓株式会社

若手社員約130名の農業研修を実施 北海道農業の活性化に貢献します。

石屋製菓株式会社(本社:札幌市西区 代表取締役社長:石水 創)は、当社社員を道内の農業法人への研修の取り組みを開始いたします。

若手社員を中心としたこの取り組みは、当社の施設および工場の休業を余儀なくされる中、業務をおこなえない時間を社員教育に活かし、当社製品の原材料供給元でもある農業や酪農といった一次産業の実情を学び、収集した情報や構築した関係性を今後の業務に活かすという人材育成を目的としております。

また、生産者の立場にたった視点を身に付けることで、食品ロスの削減や環境保全活動の大切さを体感し、SDGsの推進を醸成していきます。

※研修を目的とした活動で、当社より協力要請を行った結果、実現しました。

当社は、2018年に農業生産法人「北海道150年ファーム」を立ち上げ、寒冷地でのバナナ栽培に取り組んでおります。今後も「北海道の農業価値を高める」という理念のもと、北海道農業の発展に貢献してまいります。



<実施内容>

- ・研修期間 : 2020年6月1日～10月31日(5か月間)
- ・派遣人員 : 入社3年目までの30歳未満の社員 約130名
(130名を5グループに分け、1か月交代で研修を実施)
- ・派遣先 : 札幌市・江別市・新篠津村・北見市・士別市の8農業法人等(予定)

当社は「しあわせをつくるお菓子」の企業理念のもと、「100年先も、北海道に愛される会社へ」という長期ビジョンの達成に向け、これからも北海道に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

石屋製菓株式会社 広報CSR課 担当 : 亀村、加藤
TEL:011-666-1438、E-mail:t.kamemura@ishiya.co.jp 、c.kato@ishiya.co.jp